

家族や友達、1人でも楽しめる武蔵野市中央地区のケーキ

武蔵野市中央地区タウンマガジン

む・ちゅー

2024.1 January

第 4 号

武蔵野市中央地区
商店連合会 広報誌

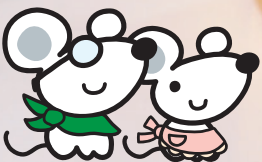
muchu

特集

地元のケーキ



お祝いに
ちょっとした贅沢に



むチューくんの Information!



今回は中央地区で昨年11月～12月に開催された
イベントを紹介するチュー!



むチューdeデジタルスタンプラリー 第3弾を開催!

毎年恒例のデジタルスタンプラリーが今年は3回目! 過去最多の212
店舗が参加し、なんと全部コンプリートした人が16人も...! たくさん
周ってきてありがとうございました!



コンプリートした16人(ペンネーム)

とっきー / コウヘイ /

もす / あき / りき / sat / noraneco / そうし / しょ / ままんちゅ /
Naoya / まかぜ / れおん / きつつあん / けんじ / こう



総投稿枚数216枚から選ばれた10枚だチュ!

むチュー冬のフォトコンテスト2023

muchu winter photo contest 2023

入選
10作品
発表!

2023年11月19日～12月17日のむチューdeデジタルスタンプラリーと同時開催された
『むチュー冬のフォトコンテスト2023』入選写真をご紹介します! 投稿いただいた皆さま、ありがとうございました!



『神社の銀杏 ライトアップ』
ペンネーム: ゆりあん



『お馴染みの顔「三馬駅」』
ペンネーム: まろん 17
毎日「いってきます」に「ただいま」を



『イチョウの絨毯』
ペンネーム: マル



『陸橋から見る夕景の富士山』
ペンネーム: さーしゃん
ここから見る富士山が大好きです



『冬のイチョウ』
ペンネーム: べえちゃんママ
スタンプラリーをするまで、
こんなに立派なお寺が
近所にあるとは知りませんでした。
真っ青な空とイチョウの
黄色がきれいでした。



『図書館前キャンドルナイト』
ペンネーム: ままんちゅ
イルミネーションと
キャンドルのコラボ
ものすごく綺麗



『武蔵野中央公園内のサンタ』
ペンネーム: Eko
あちこちに



『冬の足音』
ペンネーム: いろはす
毎年この時期の中央公園の
イチョウの落ち葉遊びが大好きです。



『大きな木のイルミネーション』
ペンネーム: なおなお
サミット隣の公園の
イルミネーションです。



『初めてのキャンドルナイト』
ペンネーム: くまま
初めてのキャンドルナイト、
楽しかったね!

たくさんのご応募
ありがとチュ!
またイベントの時に
開催する予定チュ!



中央地区のおいしいケーキ屋さんにもチュー。

むチューエリアでおおすすめの家族や友達・一人でも楽しめる美味しいケーキ屋さんを紹介！
ちょっと贅沢したい気分の時や甘いものが食べたい時、ぜひ寄ってみてください！



季節と時間に寄り添って

店主のみさとさんは製菓学校を卒業後、都内洋菓子店で勤務経験を経て、ワーキングホリデーでフランスへ留学。帰国後は山梨県のぶどう農園で住み込みで働き、現地でのマルシェやイベントでの出店経験などを経て、2022年に西久保に実店舗をオープン。「季節と時間に寄り添ったお菓子」をテーマに、旬な食材やスパイス・ハーブなどを使ったお菓子が特長だ。「これからはさらに季節のお菓子や新しいお菓子を販売していきたい。時期によって商品が変わるので、是非一度足を運んでいただければ」と話す。

西久保城山会 ひつじ組

武蔵野市西久保3-9-16

TEL: なし 定休日: 月曜・火曜

営業時間: 水曜～土曜／第一部 9:00～13:00、
第二部 15:00～19:00、日曜／第一部のみ営業



1. 手づかみショート・
とちおとめ(700円)。
お店の看板商品。
やわらかいスポンジ
と生クリームがクセ
になる。



2. ワッフル(300円)。
注文後に新しく焼き立
てで提供してくれる人
気商品。



3. 宇治抹茶のトート・ショ
コラ(750円)。しっとり
とした味わいで、抹茶
の香りを色濃く感じる。



1. 鈴木俊行の究極のモンブ
ラン(972円)。どこを食べ
ても栗を感じられる栗好
きにはたまらないお店
の看板商品。



2. 苺の
スペシャルショート
ケーキ(756円)。完熟イチゴ
を贅沢に使用したまさにスベ
シャルなショートケーキ。
※フルーツの仕入れ状況により価格
が変更になる場合がございます。

3. シュークリーム
(270円)。ミラク
ルエッグ日光金之
卵を使用したこだ
わりの逸品。



安心安全に楽しめるお菓子を

1990年創業。「パリの精神」という意味の店名通り、老若男女問わず幅広く楽しめるようアレンジしつつもフランス菓子の伝統をしっかりと守っている。イベント企画の古島さんは新卒から28年間エスプリ・ドゥ・パリ一筋。子供から大人まで安心安全に楽しめるよう保存料や添加物は使用せず、北海道直送の乳製品や生産者の顔が見えるフルーツなど素材選びにこだわりを持っている。「ケーキを食べる場面は祝い事が多い。ハッピーになってもらえたら嬉しい。何かの機会で見ただけでも構わないのでお立ち寄りいただければ」と話す。

武蔵野中央会

エスプリ・ドゥ・パリ
Esprit de Paris

武蔵野市中町3-5-12

TEL: 0422-54-5139 定休日: 無休

営業時間: 10:00～19:00



本場フランスを求めて

2003年成蹊学園近くにオープンし、10年前に移転。店主の庄司さんは美術系の専門学校を卒業後、料理本などのデザイン関係の仕事に従事していたが、作る側になりたいと一念発起し、本場フランスで修行を重ねたユニークな経歴の持ち主だ。フランスの郷土菓子を中心としたケーキはクラシカルな気品が漂う。「和ませるのが仕事だと思うのでほっこりしてもらいたい。週3日しか営業していないけど開店時は全力で営業しているので是非いらしてください。」と話す。A.K Laboでぜひ本場のフランス菓子を味わいたい。



3.タルト・オ・フリュイ(540円)。アーモンドクリームを焼き込んだタルトにカスタードクリームと季節のフルーツが乗る。



2.モンブラン(810円)。中山栗を糸のように細く絞り、口の中で香り立つ。



1.ムラングシャンティエ(486円)。サクッとほどけるメレンゲとシャンティークリームは相性抜群。

大野田商會

パティスリーエーラボ

pâtisserie A.K Labo

武蔵野市中町3-28-11

TEL: 0422-38-9727 定休日: 月曜～木曜

営業時間: 11:00～18:00



1.サバラン(453円)。ラム酒の香り漂う自家製シロップとカスタードが抜群のハーモニー。



2.フレジェ(540円)。甘酸っぱいイチゴとムーススリヌの濃厚な味わい。



3.タルトシトロン(540円)。柑橘の甘酸っぱさとカラメリゼしたナッツの香ばしさが絶妙なバランス。



地域密着にこだわり続けて

前身である「フィンランド」を含め、今年60周年を迎えた老舗ケーキ屋。店主の海道さんは都内洋菓子店で修行した他、ヨーロッパへ飛び込みで武者修行へ行くほどパティシエ道を邁進。ウェディングケーキや一人用ホールケーキの要望などお客さんの細かいニーズに対応してくれるところも地域密着なのを感じられる。「ティアレのケーキを食べてちょっとしたひと時を過ごしてもらったり笑顔になってもらいたい。幸せを感じてもらいたい」と話す。武蔵野市出身の店主が作るケーキは武蔵野市民には欠かすことのできない存在だ。



グリーンパーク商會

パティスリーティアレ

pâtisserie TIARÉ

武蔵野市緑町1-4-10

TEL: 0422-51-2804 定休日: 木曜

営業時間: 10:30～18:00



点が円になって 広がるように

昭和56年創業。ショーウィンドウにはオーソドックスな商品の他、冬季限定イチゴのタルトなど旬のものも並ぶ。自分が見える値段設定にしていると話す通り、どれもとてもリーズナブル。「うちのケーキで家族揃って笑顔に、幸せな気持ちになってもらえれば」と話す。ロンボワンというのはフランス語でrond(円)point(点)を意味する。点が円になって広がっていくような、そんなお店になるように、と師匠から受け継いだ。店名の通り地元根付き愛されているケーキ屋さんだ。



1.カシス(420円)。女将さん一押し。甘酸っぱいカシスムースがたっぷり。



2.ミゼラブル(450円)。香ばしいヘーゼルナッツとバタークリームのコクがたまらない。

3.マカロン(4個入/820円)。オーナーがケーキよりも自信があるという一品。



三谷通り商店会

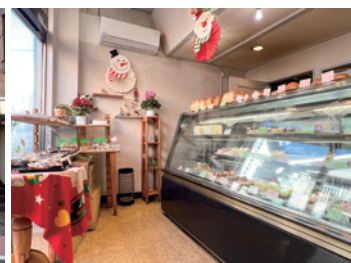
フランス菓子 ロンボワン

武蔵野市西久保2-26-12

TEL: 0422-54-8301 定休日: 月曜

営業時間: 10:00~19:30

MAP



1.マブリショコラ(1944円)。食べ比べも楽しい、厳選された産地別カカオ5種のチョコケーキ。

2.ポワルドール(777円)。チョコレートムース・洋ナシのコンポート・アールグレイの香りが絶妙。



3.ペパデオーロ(594円)。希少なエクアドル産カカオを使用したスペシャルティケーキ。



ショコラで日常に彩りを

オーナーの猿舘さんは製菓学校を卒業後、2度渡仏し、帰国後2006年にマ・プリエールを開店。ショコラトリーというだけあってチョコレートに並々ならぬこだわりを持っており、一部を除いたほとんどのケーキにチョコレートを「日本にはチョコを食べる習慣がなかなかない中、武蔵野はとても落ち着いていてショコラトリーに向いていると感じる。ショコラが日常に当たり前に団欒を彩る存在になっていきたい」と話す。マ・プリエールとは「私の願い」という意味。ケーキ一つ一つに猿舘さんの思いが込められている。



中央通り西洋会

パティスリー ショコラトリー マ・プリエール

Pâtisserie Chocolaterie
Ma Prière

武蔵野市西久保2-1-11-1F

TEL: 0422-55-0505 定休日: 不定休

営業時間: 11:00~18:00

MAP





むチューぴと
今月の夢中人 1人目



関前八幡町親交会／ピザ屋

H.A.O PIZZA STATION 廣瀬 剛さん



「焼き立てに勝るものはない」と、店内での飲食も可能

H.A.O PIZZA STATION

住所：武蔵野市八幡町2-2-1

定休日：不定休

TEL：0422-27-8530

営業時間：

10:30～19:30（休憩14:30～15:30）

MAP



★食卓を華やかにできる存在へ★

武蔵野中央公園近くに、2022年に誕生したピザ屋さんがある。「H.A.O PIZZA STATION（ハオピザステーション）」だ。

吉祥寺ヨドバシ裏にあるキッチンカーのピザ屋「ガレージ50」や三鷹市下連雀にある「PIZZA 9丁目」も系列で、運営をするのは廣瀬剛さん。イタリアンやカフェなど多種多様な飲食店での経験があり、吉祥寺でも長くカフェで勤務していた。「キッチンカーをやるうと思いい、何が売れるかなと考えた結果、ピザにたどり着きました。」

今でも珍しい、キッチンカーでのピザ販売をはじめ、実店舗は2店舗目になる。色々な種類の中から自分のお気に入りのピザを見つけてほしいと、お店で販売する約30種類のピザは全品700円。また、注文を受けてからわずか3分で焼き上がる薄い生地も特徴だ。「最近ではピザ1枚が2000円、3000円が当たり前の世界。その中で、子どもたちでも気軽に買いに来られる価格なるべく提供したいと思っています。」圧倒的1番人気はマルゲリータ。シーフード系も人気がある。公園に近いこともあり子ども連れのお客も多いが、中にはピザ生

地を気に入ってリピーターになる欧米の方もいるそう。「『やったあ〜！ピザだ！』と喜んでいただけるような、食卓を華やかにできるような存在に、ピザをしたいなと思います」と話す廣瀬さん。蓋を開けると、きのわワクワク感と、焼き立ての香りがたまらない「ピザ」。これからも地域の胃袋を幸せで満たし続ける。





今月の夢中人^{2人目}

むチューびと



武蔵野中央会／果実屋

果実店 canvas 佐藤 圭太さん

「SNSでの人気もあり遠方からのお客さんが多いが、今後はより地域密着の店舗にしていきたいと佐藤さんは話す。「この店舗が入る長屋の雰囲気惚れ

＊果物に魅了され、その奥ゆかしさを伝える＊
2022年、五日市街道沿いの長屋に1軒の果物屋が誕生した。「果実店 canvas(キャンバス)」だ。
「果物が持つ本来の味わいを知ってもらいたい。」店主の佐藤さんは専門学校を卒業後、練馬区にあった実家の和菓子屋を手伝い始めた。果物に触れるきっかけとなったのは、お店で新しく「いちご大福」を製造することになってから。同じ果物でも生産する土地や作り方が違い、色・形・味なども異なり、それらによってランク付けが行わ

れることを知り、果物の奥深さに魅了されていった。「長年駅前にあるような果物屋さんの果物は、やはり『質が良くておいしい』から求められ続けていると学びました。おいしい果物を食べて、健康で居続けられるというのは今の時代にも求められていると感じます。」2019年に代々木上原に実店舗をオープンさせ、今は吉祥寺の店舗と昨年完成したキッチンカーでのイベント出店がメインだ。果物は、全国から選りすぐりが集まる太田市場に佐藤さん自ら赴き、長年仲卸業をやってきたプロの目で評価されるものを扱う。「旬のフルーツを組み合わせるパフェやコンポートなど、通常のカフェでは提供できないデザート屋ならではのメニューで、果物の美味しさを知ってもらいたいです。」



2階まである店内には“和菓子屋の雰囲気”を染み込ませている



果実店 canvas

住所：武蔵野市
吉祥寺北町4-1-1
定休日：火曜、水曜
営業時間：
12:00～18:00
(月によって変動あり)

MAP



て、出店を決めました。昨年は長屋独自のおまつりも開催しましたが、今後も継続的に開催していきたいです。」
連なる建物に佇む1つの光は、果物の奥ゆかしさを表現する、そんなお店だった。

武蔵野市中央地区商店連合会

武蔵野市中央地区商店連合会は、武蔵野市の中央部分にあたるJR三鷹駅北口側の中町、西久保、緑町、八幡町、関前2～4丁目、吉祥寺北町4丁目(一部3丁目)に立地する13の商店会の連合会です。公式キャラクター「むチューくん」とともに、地域の皆さんとふれあい喜んでもらうことを目的に、さまざまな事業を行っています。

1 グリーンパーク商店会

2 武蔵野中央会

3 三鷹駅北口商店会

4 八丁商和会

5 中央通り西祥会

6 中道第二商店会

7 大野田商店会

8 三谷通り商店会

9 西久保城山会

10 西久保NTT通り商店会

11 緑町商栄会

12 緑町一番街

13 関前八幡町親交会



武蔵野市中央地区商店連合会
公式キャラクター

むチュー

武蔵野市中央地区商店連合会の公式キャラクター。
武蔵野市の「武(む)」と中央地区の「中(チュー)」を
合わせて「むチュー」です。



公式LINEアカウント「むチューくん」で
▼最新情報発信中!



イベントインフォメーション

3月

武蔵野桜まつり

...and more!



土曜日、むチュー事務所で開催

むチューいまいまサロン

“多世代交流”をコンセプトに、いつまでも元気でいられる健康づくりをサポートしています!是非お気軽にご参加ください!

●場所: むチュー事務所 / 時間: 土曜 10:00~11:00

土よう駄菓子屋 やってマウス。

“多世代交流”をコンセプトに、子どもから大人まで楽しめる駄菓子を販売! 野菜も売ってます!

●場所: むチュー事務所 / 時間: 土曜 10:00~17:00